

## 運を味方にする生き方

トレンダーズ株式会社取締役副社長COO  
株式会社MimiTV代表取締役社長

**黒川 涼子氏 (高校45期)**



アパレルメーカーでの営業、化粧品会社役員を経て2006年にトレンダーズ株式会社に入社  
女性のインサイト分析、トレンド分析を強みとし、講演・ラジオ出演・コラム執筆など実績多数

40代半ばの私が人生を語るには早すぎることは承知していますが、自分や他人の経験をもとに学んだ「運を味方にする生き方」について書いてみたいと思います。

人生とは、つくづく運要素が強いものだと思います。そもそもどんな遺伝子をもってどんな環境に生を受けるのかも自分で選択できることではなく、遡れば両親が出会い結婚出産に至ったことすら運による要素が大きいことからすると、自分という人間が存在していることすら、運による賜物だといえます。そしてどのような人生を歩み、誰と出会い、どのような経験をするのか、それらも多くは運に左右されるものです。

私が好きな、ある経営者の言葉に「世界は落下している」というものがあります。世の中のあらゆる事象は、本来あるべき方向に向かってものすごい勢いで落下している。それに逆らうことはできないし、先に向かったものが勝つ。という考えを表現した言葉なのですが、この「落下＝世の中の流れ」も運と同様に、個人の能力や努力ではどうしようもできない、でも人生を大きく左右する要素といえます。

そして、運が良い時や流れが来ている時は、本人の想像以上に物事は順調に、良い方向に進むものです。一方で残念ながら、運や流れに恵まれない時は、どんなに努力や創意工夫をしても状況を打破することは困難を極めます。だからといって、夢や目標に向かって努力することが無駄という訳ではありません。

多くの人は、他人がうまくいっている時を羨んで、そこから学んだり真似たりしようとします。でもそれは運や流れによるものが大半なので、実はそこには再現性がないことも多いのです。一方で物事がうまくいかない時、運や流れが悪い時をどう耐えるか。これは個人の實力差が大きく出る部分であり、経験や努力によって確実に磨かれていくものです。

また、運や流れというのはあくまで一過性のものであり、永続的なものではありません。プロ野球でいえば、1試合だけを切り取れば運による勝ち負けもあり得ますが、100数十試合を戦うと、實力の差が出ます。だから、運を味方につけて人生を成功に導くためには、短期戦に捉われず長期戦に持ち込むこと、つまり「継続すること」が重要なのです。

私個人も、決して理想の環境に身を置いてきた訳でも、容姿にも能力にも恵まれていた訳ではありません。高校時代はニキビが酷くて本当に悩んだし、大学時代は痩せたくて倒れるほどの過激なダイエットをしたこともあります。社会人になってからも、思い通りにならなかったり辛かったりしたことの方が圧倒的に多いです。そして今、40代になった私は、人間としても経営者としてもまだまだ未熟ですが、自分への自信やそれに伴う幸福度はこれまでの中で最も高い状態に持つことができました。これは私が短期戦ではなく、人生とキャリアを長期戦で戦って、苦しい時も腐らず、努力を続けた結果だと思っています。



トレンダーズの仲間たちと

運や流れに恵まれない時に耐え、長期戦に持ち込むこと。これが、私がこれまでの人生で学んだ「運を味方にする生き方」なのです。